



## 経営学部 経営学科・大学院経営学研究科 高原龍二(たかはら りゅうじ) 教授

産業心理学の視点から、「ストレスチェックの集団分析」  
「地域住民の精神的健康調査」「モノレール運転士の  
トラブル対応」など実態調査による研究

### ■ 産業心理学の視点から、企業や地域との共同研究に従事。

産業心理学を専門とする高原教授は、企業や労働組合、地域などの心理的問題を調査や実験によって検証し、改善につなげていくための共同研究に取り組んでいます。これまでに関わってきた研究は、「ストレスチェックと職場指標の関連分析」「地域住民の精神的健康調査」「モノレールにおける適切なトラブル対応のシミュレーション実験」「会計士の転職支援のための性格検査開発」「派遣労働者の就業意識面接調査」などです。

### ■ ストレスチェックの集団分析から、職場のメンタルヘルスを支援。

高原教授は、労働安全衛生法に基づいたストレスチェック制度の概要や活用法について研修や講演を通して情報発信を行っており、実際に企業のストレスチェックデータの分析にも従事しています。あるサービス業企業との共同研究においては、各店舗の人員構成や残業時間などの客観指標と心理的なストレスが退職にどのように関係しているのかを分析し、論文として発表(対人社会心理学研究、2018)するとともに、管理職研修などを通じて職場改善の提言へと結び付けています。

### ■ 大阪高速鉄道(株)と、モノレールにおけるトラブル対応について調査や実験を実施。

災害などのトラブル発生時、ワンマン運転のモノレールにおいて、乗務員はどのような対応を取ったらよいでしょうか。高原教授は、大阪高速鉄道株式会社との共同研究として、2018年6月の大阪北部地震に関する乗客を対象とした調査(産業・組織心理学研究、2021a)や乗務員などを対象としたシミュレーション実験(産業・組織心理学研究、2021b)を行っています。また、これらの研究から得られた結果を、マニュアルやガイドラインに反映するように、現場との議論を重ねています。

### ■ 産業心理職の知識と技能の向上のために専門職団体を活性化。

公認心理師法が成立し、新たに心理職の国家資格が生まれたことからもうかがえる通り、心理学を背景とした対人援助は様々な領域で求められています。高原教授は一般社団法人大阪公認心理師会の設立に携わり、大阪における公認心理師、特に産業領域の心理職の知識や技能の向上のための活動に取り組んでいます。

#### 高原龍二教授 プロフィール

詳細はこちら⇒<http://webj8.osaka-ue.ac.jp/ouehp/KgApp?kyoinId=ymdiyyoyggv>

1976年生まれ、兵庫県出身

経歴：大阪大学大学院 人間科学研究科 博士(人間科学)

著書・論文：『産業・組織心理学TOMORROW』(共編著2020、八千代出版)

『ストレスチェックによる退職予測モデル』(2018)

『ワンマン運転の鉄道におけるトラブル対処チェックリストの有効性の検討』(共著2021)

所属学会：日本心理学会、日本産業衛生学会、日本産業ストレス学会(理事、編集委員、産業心理職委員)、  
日本社会心理学会、産業・組織心理学会(編集委員)、日本社会医学会

職能団体：一般社団法人大阪公認心理師会(設立発起人)、大阪府臨床心理士会(研修委員)

受賞歴：第56回日本社会医学会総会奨励賞(2015)、産業衛生学雑誌 2010年度 優秀論文賞(2011)

<本件に関するお問い合わせ先>

大阪経済大学 企画部広報課 高濱 TEL: 06-6328-2431 Mail: [kouhou@osaka-ue.ac.jp](mailto:kouhou@osaka-ue.ac.jp)

大阪経済大学 広報デスク(プランニング・ポート内) 福嶋、小宮 TEL: 06-4391-7156

<https://www.osaka-ue.ac.jp>